



認定NPO法人 新田の風 会報

風になびかされて

vol.4

会報誌 風になびかされて 第4号発行

平素より当法人の諸活動に對しまして、ご理解とご協力をいただき、大変にありがとうございます。

今回の会報誌は、新田の風の近況、及び昨年の活動報告をお届けいたします。どうぞ一読ください。

また新田の風では随時活動のお手伝いをいただける方を募集しております。新田自治会にお住まいの方でなくてもご参加いただけます。興味をお持ちの方は、どうぞお気軽に事務所までお問い合わせください。これを機会に私たちの仲間の輪に加わってみませんか？

井益雄 理事長より



私たちの活動は2011年に始まりました。その3年後に『NPO法人 新田の風』を開設。さらに3年後からは『認定NPO法人 新田の風』として歩んで参りました。新田の風としてはこれまで苦難の歩みでしたが、昨年は二つ良いことがありました。ひとつは財政的にやっとまとまら運営にたどり着けたことです。もう一つは『読売福祉文化賞』を頂いたことです。これでやっとスタートラインに立てたという思いがします。

現在の日本社会において、もはや「家庭介護力」は崩壊しています。住み慣れた地域で、「自宅に戻れず、あちらこちらの病

院や施設をたらい回しにされて、お亡くなりになって初めて家に帰れる方々が後を絶ちません。この問題に真正面から取り組みようとしているのが我が認定NPO法人新田の風なのです。

家庭介護力を身内だけに頼るのではなく、「向い三軒両隣、迷惑をかけたなり、かけられたりでいいじゃないですか。お互いに支え合って生きていきましょよ。」という思いがすべてです。住民同士でしっかり仲間づくりをしておいて、そこに医療・福祉の専門家も加わり、いざという時にガッチリと支えるチームを作ります。『たとえ介護者のいない方でも地域ぐるみで支えましょよ』という発想です。これはボランティア活動ではありません。『自分の将来の準備』のための活動です。

新型コロナウイルス感染症の問題で年明けから大変な日々が続いています。現在はやや沈静化してきた感もありますが、この先も油断はできません。ウイルスは人から人へと感染しますので、今は人との接触を伴うような集まりや催しができなくなっています。これは新田の風にとって致命的であり、今はほぼ活動停止状態となっています。この感染症は高齢の方が罹患すると死亡率が高いゆえ、自粛は今しばらくやむを得ないでしょう。ご理解をいただき、皆で耐えしのぎましょよ。また私たちの法人に對して何かご意見やご要望がございましたら、遠慮無くお寄せください。

連載コラム 風の人たち ④

新しい役員をご紹介します

この度、新田の風の役員に、新しいメン

バーが3人加わりました。ここに紹介いたします。



新監事 深町 美峰子さん (写真右)

皆さんは「人に寄り添う」と言う言葉を聞いて、何を感じますか？私は常にこの事を考え、自分の周りに目を向け日々活動しています。新田の住民として、そして新田の風の一員として、地域住民が心から寄り添い合える優しい風を、この場所から吹かしていけたらと願っています。

- ・できる事から始めよう！
 - ・気付きを大切にしよう！
- この2つの事を胸に掲げ、これからも活動していきます。どうぞよろしくお願いたします。

新理事 佐藤 友秋さん (写真中央)

学生から社会人、そして定年、故郷を離れて四十数年戻ってきました上田に、うらしまたろう状態で。

こんな私を迎えてくれた昔の仲間は皆親切でした。その中の一人から「認定NPO

○法人 新田の風」を紹介していただき、理事役を仰せつかりました。私も人生終盤に入り「風」の理念に共感し、明日は我が身と思い先輩諸氏と励まし合っ「風」に乗っていく所存です。よろしくお願申し上げます。

新理事 小松崎 健二さん (写真左)

私は現在、新田自治会の役員として自治会運営に携わっておりますが、高齢者支援に對する取り組みは自治会にとっても非常に重要な課題となっております。この課題には地域全体での取り組みが求められ、そのためには幅広い世代から、また、さまざまな方面からの新しい仲間の力が必要となります。一人でも多くの方が仲間として加わってもらえるよう自治会と密接な連携を図りながら当活動の発展に努めて参りたいと思っております。大変微力ではございますが皆さまと共に、地域の皆が笑顔で支え合い、住みやすいまちづくりの実現に向け少しでもお役に立てることを願い尽力していきたいと存じます。

新田の家担当

ふれあい訪問チームより

新田の家は昨年5月に5周年記念事業が無事終わりました。

今年の春から始まった新型コロナウイルス感染症の影響はありますが、新田の家の様々な計画は様々に注意をしながら、昨年よりは充実した作業ができました。中でも皆で協力しながら花壇だけでなく、夏野菜もたくさん収穫でき、天神の家へのお裾分けができる程でした。

これからは利用者の皆さんと今まで通りに触れ合いができるように、感染症の沈静化を願うばかりです。「リーダー 小林誠」

ゼミ活動を終えて



新田の風は長野大学学生さんとの連携活動を行っています。
今回は昨年卒業した田中さんの感想をお届けします。

長野大学 社会福祉学部 中村ゼミ 田中大梧
私は、長野大学で社会福祉士の国家資格を取得するため、日々の大学の講義や地域のボランティア活動などを通して福祉を学んできました。大学2年生までは、福祉を学ぶ理由が「資格取得のため」であり、社会福祉士になって何をしたいのかという将来のビジョンが曖昧なままでした。そんな私が目標を持てるようになったきっかけが、3年生から始まったゼミ活動であり、新田の風の皆様との出会いでした。

中村ゼミの新田の風チームとして活動を開始したばかりの頃は、活動方針が定まっていなかったこともあり、何をすればよいか分からないという不安がありました。しかし、新田の風理事会の皆様の新田地域に対する想いを聴き、また実際にサロンに参加させて頂くことで、新田の風が掲げる「安心して老いを迎えられるまちづくり」には若者の力も必要不可欠であると感じるようになり、私達学生にできることが沢山あることに気づきました。

そこからは新田の風と共同で活動を行うてきました。活動を始めた最初の年は、認知症になった人が住み慣れた地域で暮らし続けていくため、認知症に理解のある支え手を一人でも多く増やしたいという考えから、主に学生といった若者を対象とした「認知症ケアレベルアップ研修会」を開催しました。また学生最後となる年には、地域内の多世代交流を目指した活動として、新田の風事務所をお借りし、地域に住む小さなお子さんから高齢者の方がレクリエーションやカリー作りを通して交流

を楽しんでもう「お楽しみ交流会」を開催しました。どちらの企画も簡単にできたわけではなく、準備の段階から多くの方々に協力して頂いて開催することができたこともあり、改めて周りの人の支えが大切だと感じました。またそれ以上、これらの企画・活動を通して、学内生活だけでは出会うことがなかった地域の皆様と関わられたこと、そして私自身も地域の一員であるという自覚が持てたことが、これから福祉を携わる人間として何よりも貴重な経験となりました。



4年間の学生生活も幕を閉じ、4月から社会人としての生活が始まっています。これまでの活動や多くの人との出会いを通じて、今では「人と人を繋ぐ架け橋となる社会福祉士になりたい」という目標があります。これから、時には壁にぶつかってもあるかとは思いますが、そんな時は学生時代に学んできたことを思い出して、自分

の選んだ道を歩んでいきます。
新田の風の理事の方々をはじめ、活動にご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

読売福祉文化賞 受賞

新しい時代にふさわしい福祉活動を実践している個人や団体を顕彰する「読売福祉文化賞」。

第17回目となる今年、高齢者福祉部門に私たち新田の風が選ばれ、昨年12月10日、読売新聞本社にて贈呈式が行われました。私たちの活動は地道で目立つものではありませんが、こうして大きな賞にご評価いただいたことは大変に励みになります。ありがとうございます。ここに報告させていただきます。



新田地区の民生委員の紹介

民生委員は1期3年で、新田自治会区内には5名がおります(末尾の一覧表を参照)。今期は令和元年12月1日より令和4年11月30日までの任期となっています。ごなたも社会奉仕の精

神で、住民の相談に応じていますので、お気軽にお声掛けください。また活動の中で知り得た事は秘密を固く守る「守秘義務」を徹底しておりますので、「ご安心ください」。ご相談内容については、次の14項目が主な活動内容です。
①在宅福祉 ②介護保険 ③健康、医療保険
④子育て、母子保健 ⑤子供の地域生活 ⑥子供の教育、学校生活 ⑦生活費 ⑧年金 ⑨仕事
⑩家族関係 ⑪住居 ⑫生活環境 ⑬日常的な支援 ⑭その他
各委員の担当地区に関わらず、どの民生委員にでもご連絡をいただき、大いにご活用いただけましたら幸いです。

担当地区	氏名	住所 電話番号
1部・9部	こばやし れいこ 小林 令子	上田2054-2 22-9446
2、3部・5部(1~6組)	つちや ながこ 土屋 良子	中央北2-9-4 24-2739
4部・8部	あおき みつこ 青木 光子	中央北2-4-7 22-4703
6部・10部	いしもり だいじろう 石森 大二郎	上田1956-6 27-5676
7部・5部(7~19組)	かわかみ しずこ 川上 志津子	中央北3-4-30 27-9711

※新田区内の代表は石森大二郎氏です

認定NPO法人 新田の風「事務所

〒386-0011
長野県上田市中央北1-2-11
TEL 0268-75-7213
FAX 0268-75-7214
Mail shinden-kaze@bf.wakwak.com
URL <http://www.shinden-kaze.org>